

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	安全で快適、便利なまちづくりの実現		
計画の期間	平成25年度～平成29年度(5年間)	交付対象	飯能市
計画の目標	下水道整備推進により、都市の健全な発達、公衆衛生の向上及び公共用水域の水質保全に資する。		

計画の成果目標（定量的指標）	①合流式下水道改善率を0%（H25当初）から100%（H25末）に増加させる。 ②浸水対策達成率を51.9%（H25当初）から55.9%（H28末）に増加させる。 ③処理場における下水道総合地震対策計画策定率を0%（H25当初）から100%（H29末）に増加させる。
----------------	---

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値					備考						
	当初現況値 (H25当初)	中間目標値 (H27末)	最終目標値 (H25末)									
①合流式下水道改善率 合流式下水道改善済み面積 (ha) / 合流区域面積 (ha)	0.0% 0.0%	100.0% 100.0%	100.0% 100.0%			①指標は、「豊かな自然と共生する環境にやさしいまちの実現」の指標と一体的に評価する						
②浸水対策達成率 雨水管きよ整備済み面積 (ha) / 整備対象区域面積 (ha)	51.9% 51.9%	55.6% 52.8%	55.9% 52.8%									
③処理場における下水道総合地震対策計画策定率 下水道総合地震対策計画策定済みの処理場数（箇所） / 下水道総合地震対策計画を策定すべき処理場数（箇所）	0.0% 0.0%	100.0% 100.0%	100.0% 100.0%									
全体事業費	合計 (A+B+C)	2,279百万円 995百万円	A	2,279百万円 995百万円	B	0百万円	C	0百万円	D	0百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0.0%

事後評価（中間評価）の実施体制、実施時期

事後評価（中間評価）の実施体制	飯能市下水道事業審議会運用に関する内規により、平成31年2月に実施した。
事後評価（中間評価）の実施時期	平成31年2月8日
公表の方法	市のホームページへ掲載

1. 交付対象事業の進捗状況

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	事業及び施設種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
											H25	H26	H27	H28	H29		
A1 下水道事業																	
飯能処理区																	
A1-1	下水道	一般	飯能市	直接	飯能市	処理場	改築	飯能市浄化センター合流改善事業	簡易処理の高度化、合流改善事業事後評価 簡易処理の高度化、合流改善事業事後評価	飯能市						559 560	合流改善計画
A1-2	下水道	一般	飯能市	直接	飯能市	合流	設置	管きよ合流改善事業	遮集管φ400～450mm L=510m 遮集管φ400～450mm L=510.32m	飯能市						166 157	合流改善計画
A1-4	下水道	一般	飯能市	直接	飯能市	処理場	改築	飯能市浄化センター耐震対策事業	耐震診断調査、総合地震対策計画策定 耐震診断調査、総合地震対策計画策定	飯能市						73 83	
A1-5	下水道	一般	飯能市	直接	飯能市	処理場	改築	飯能公共下水道事業計画策定事業	ストックマネジメント計画策定 ストックマネジメント実施方針策定	飯能市						40 62	
笠縫排水区																	
A1-3	下水道	一般	飯能市	直接	飯能市	雨水	設置	笠縫雨水幹線整備	φ2,000mm～2,400mm L=603m φ2,000mm L=38.50m	飯能市						1,441 132	
											合計	2,279 995					

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
										H25	H26	H27	H28	H29		
B 関連社会資本整備事業																
合計																

番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考
----	----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	----

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
										H25	H26	H27	H28	H29		
C 効果促進事業																
合計																

番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考
----	----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	----

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
										H25	H26	H27	H28	H29		
D 社会資本整備円滑化地籍整備事業																
合計																

番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考
----	----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	----

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

その他関連する事業

計画等の名称	豊かな自然と共生する環境にやさしいまちの実現																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	事業及び施設種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
											H22	H23	H24	H25	H26		
飯能処理区																	
A1-3	下水道	一般	飯能市	直接	飯能市	処理場	改築	飯能市浄化センター合流改善事業	簡易処理の高度化 簡易処理の高度化	飯能市						581 579	通常
A1-4	下水道	一般	飯能市	直接	飯能市	合流	設置	管きよ合流改善事業	遮集管φ400～450mm L=510m 遮集管φ400～450mm L=510.32m	飯能市						7 7	通常

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

定量的指標に関連する交付対象事業の効果の発現状況	・飯能市浄化センター及び管きよの合流改善事業を実施した結果、河川に放流されるきょう雑物や汚濁負荷量を削減し、公共用水域の水質保全に大きく寄与している。 ・笠縫雨水幹線整備では、踏切築造工事（区画整理事業）に併せて、雨水管を整備した（φ2,000mm L=38.50m） ・耐震診断の実施及び総合地震対策計画の策定により、平成29年度から5年間で実施する地震対策事業を決定することができた。
--------------------------	--

II 定量的指標の達成状況	指標①	最終目標値	100.0%	目標値と実績値に差が出た要因	計画的に合流改善事業（A1-1、A1-2）を行うことで、予定どおりに目標を達成した。
		最終実績値	100.0%		
指標②	最終目標値	55.9%	目標値と実績値に差が出た要因	他事業との調整の結果、平成29年度までは未普及対策を重点的に実施したため、雨水幹線整備は平成30年度から実施する。	
	最終実績値	52.8%			
指標③	最終目標値	100.0%	目標値と実績値に差が出た要因	計画的に耐震対策事業（A1-4）を行うことで、予定どおりに目標を達成した。	
	最終実績値	100.0%			

III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)	・ストックマネジメント計画策定を平成30年度に予定しているため、飯能公共下水道事業計画への反映は平成31年度以降となる。
--	--

3. 特記事項（今後の方針等）

・平成25年度から平成29年度までの5年間で「安全で快適、便利なまちづくりの実現」を実施し、合流式下水道改善率及び総合地震対策計画策定率については定量的指標を達成することができた。 ・浸水対策事業については、平成29年度に詳細設計を実施しており、他の整備計画において平成30～34年度の5年間で工事を実施する。 ・浄化センターの地震対策については、他の整備計画において平成31年度までに管理本館及び塩素混和池の耐震工事を実施する。 ・平成30年度に処理場のストックマネジメント実施方針を策定した上で、全ての下水道施設を対象としたストックマネジメント計画を策定し、老朽化対策にも取り組んでいく。

(参考図面) 社会資本総合整備計画 (防災・安全)

計画の名称	安全で快適、便利なまちづくりの実現		
計画の期間	平成25年度 ~ 平成29年度 (5年間)	交付対象	飯能市

